

安住寺だより



禅の心

第162号

発行 安住寺（年4回発行）

臨済宗南禅寺派

大分県杵築市大字南杵築379

〒873-0002 Tel.0978-62-2680

URL <http://www.anjuuji.net>

編集 矢野明玄 2・3頁

矢野玄德 1・4頁

「郷中」の教育に

関栖記

仏教の教えを見る

NHKの大河ドラマ「西郷どん」をご覧の方も多いかと思えます。幕末から明治維新に生きた西郷隆盛の生涯を取り上げたドラマです。

幕末の薩摩の地に、どうして西郷や大久保利通らの人材を輩出したのか調べてみると「郷中」という教育法があったことを知りました。

郷中の起源は、戦国時代の島津家第十七代の当主島津義弘によるとされています。

煮縁供養 説教会

23日

午後一時

卒塔婆供養

(月)

午後二時頃

説教

24日

午前十一時

合掌会総会

(火)

午後一時

卒塔婆供養

午後二時頃

説教

4月

午後三時半

総供養施餓鬼

布教師

松江市 長源寺住職

岸本恵親師

卒塔婆供養料、一本五百円です。出るだけ事前の申込をお願いします。

郷中が教育組織として機能を発揮するようになったのは、江戸時代中期以後のこと。安永二年に藩校や武道館が創設されると郷中では、武術や集団的な活動は禁止された。このことがユニークな教育制度として機能した理由になっているようです。

その内容は、島津忠良の「日新公いろは歌」や、新納忠元の作成した「二才咄格式定目」を根幹としている。

その内容は、武士道を本義とし人としての常識的な在り様を学ぶこととしている。要約すると「負けるな。ウソをつくな。弱い者をいじめな」などでしょう。各町内で組織化され、後輩が先輩の家に行き、得意な儒学や書道などを習う。という教育の方法です。六歳から五歳ごとに小稚児、長稚児、二才（にせ）妻帯した二十五歳以上の者を長老（おせんし）と呼ぶ四つの咄（グループ）に編成して縦割りの教育をしている。咄それぞれに責任者である「頭」を置き、責任と統制をも図っている。「二才咄格式定目」の一部を見ると「武士道の本義を油断なく実践せよ。仲間は無作法など申しかけず、古風を守れ。忠孝の



境内基地の椿（佐助）です メジロやヒヨドリが競って蜜を吸いに来ます

道は大仰にするものではない。必要な時には後れを取らぬように。山坂を歩いて体を鍛えよ」などと示している。

さて、仏教の大事な教えに五戒（ごかい）があります。

不殺生 無益な殺生をしない

不偷盗 盗みをしていない

不邪淫 よこしまな交わりをしない

ない

不妄語 虚言をつかかない

不飲酒 酒や思想におぼれない

の五つです。人間は、我儘で身勝手な生き物です。又、霞が関で重大な疑惑が持ち上がりまし

た。今更始まった事ではないが明治百五十年、此処に至って何と言うことか。「郷中」の教えを今こそ学べ。と『西郷どん』が言っているようではない。

虎溪山永保寺先住職

（虎溪專門道場師家）

田中義峰大師と遷化

私の修行時代の師で、晋山式にもご来山頂いた、田中義峰老
大師が三月一日七十六歳でご
遷化された。

私は、二人の老師にご指導を
いただいた。一人目が現在の南
禅寺管長中村文峰老師。（写真
右）二人目が田中義峰老師（写
真中央）である。

義峰老師は大阪府出身で二歳半の時に実父を亡くし、昭和十八年に母と姉の三人で旧満州・張家口に移住された。戦後京都に引き揚げ、輪転機の技師として印刷会社勤務など会社勤めをしながら、花園大で学ばれた。三十歳の時に南禅寺塔頭慈氏院で御手洗義文住職のもとで得度。南禅僧堂に掛搭し、勝平宗徹師家・管長のもとで十三年間ご修行された。

勝平老師が遷化された後、



中村文峰老師は率先垂範で、

昭和五十九年に静岡の臨濟僧堂に移られご修行。平成十二年に慈氏院に住持。中村文峰・虎溪僧堂師家（現管長）に嗣法し、平成十四年から永保寺住職・虎溪僧堂師家をお勤めになった。ここ数年病氣療養されながら、住職と僧堂師家をお勤めでしたが、体調不良のため今年二月で住職師家を退任されておられました。が、四大不調のためご遷化された。

綿密厳格なご指導でしたが、田中義峰老師は、生活は質素を旨とされ、おおらかで失敗しようが時間がかかろうが、厳しく叱咤することはなく見守っていただくようなご指導でした。

ある時、義峰老師のお世話の雲水が、食事の準備が遅れ昼食が一時間近く遅れていました。食事はまだか！と怒鳴ってきそうなものですが、のんびりとお待ちになられていたのを思ひ出します。

提唱や参禅もゆっくりと丁寧
に話され、義峰老師の温厚な
お人柄がにじみ出るものであ
りました。

また、お正月の干支色紙の版
画絵を、今年まで十三年間、三
百枚ほど義峰老師から頼まれ
描かせて頂いていました。数年
前よりその版画絵を利用し、私
も写経会、坐禅会、地区世話人
さんに干支色紙をお配りする
ようになりました。

慈氏院のご住職で居られた時から、多治見永保寺に移られ
ご指導いただいた間、三年近く

お側にお仕えしましたが「死を迎えるまで人生は修行の旅」とよく言われておりました。

只々感謝申し上げるとともに、ご遺徳をしのび、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

[illegible]

【人形供養祭】

三月十一日「城下町杵築散策
とひいなめぐり」最終日に、杵
築市観光協会さんと共催で、人
形供養祭を開催しました。

沢山の思い出の詰まった太切なお人形が役目を終えました。



「白隠さんと

仙厓さん」

九州国立博物館研修

二月二日、薄曇りで雨の心配の中、檀家の九名の皆さんと九州国立博物館で開催されました特別展示「白隠さんと仙厓さん」を拝観に行きました。



展示場入り口には、大分市萬壽寺所蔵の白隠像がぎょろりと眼光鋭く私達を出迎えた。

白隠禅師は二十九歳の時、日向大光寺におられた古月禅材の評判を聞き、古月に見えようと九州を目指したことがあるが途中で断念し、生涯九州の地を踏むことはなく、後年とても悔やまれたという。

その白隠禅師に代わって、今

回の特別展で静岡原の松蔭寺の開山堂に安置される白隠の頂相彫刻像が、九州に初めて渡ったことになる。

私も実物を見るのは初めてで、総高一〇四cmヒノキ材の寄木造り。曲線に端座する姿は気魄に満ち溢れ、正面からは大きく見開いた玉眼の目に圧倒される風貌で、一大禅匠としての貫禄が伝わってきた。



また、ユニークな仙厓さんの墨画など貴重な展示を拝観することができました。

その他にも、奈良県大和の薬師寺、栃木県下野の薬師寺に並

び三戒壇院とされる筑後観世音寺の戒壇院も参拝し、時間がありましたので旧豊後森機関庫にも立ち寄り、日帰りの短い研修の旅でしたが和やかに過ごすことができました。ご参加頂きました皆さんありがとうございました。

——新連載・ブッダのこころ——

最も古い佛教聖典「スッタニパータ」の中村元氏の訳本（岩波文庫）から、短く抜き出していきます。人間ブッダが考へ語られたことばを、いま生きる私たちの安心へ！。

実に悪意をもって（他人を）誹る人々もいる。また他人から聞いたことを真実だと思って（他人を）誹る人々もいる。誹ることばが起こっても、聖者はそれに近づかない。だから聖者は何事についても心の荒むことがない。

ん、ワイドショーなんて皆この類でしようか。森友問題や相撲協会ゴタゴタ：など。もつと有意義な番組が多くなつて欲しいような。最も必要なければ見なけりやいいのですが。日ごろうわさ話やデマ誹りに振り回されていませんか？安らかな心はそこにはありません。聖者ならずとも距離を置きましょう。

日々是好日

☆一月三日総代世話人年始会
☆一月十七日大般若祈禱会法要。一年の平安をお祈りしました。尚、二月五日千光寺（八坂）・三月三日龍雲寺（大分市白木）各お寺の大般若法要に出頭しました。☆二月二日「白隠さんと仙厓さん」展、九州国立博物館研修
☆二月二十二日南禅寺派部内会に出席、説教会、今後の予定を確認
☆二月二十三日総代会（於・安住寺）来年度予算等について話し合いを致しました。☆三月四・五日多治見市虎溪山永保寺・田中義峰老大師通夜密葬
☆三月十一日杵築市人形供養祭が安住寺本堂で執り行われました。☆三月十四日千光寺先住職様一周忌法要にお参り。
☆四月八日花まつり、本堂前に花御堂を出してお釈迦様の生誕をお祝いしています。甘茶の接待もありますのでお出かけください。合掌

はなをかた
花語らず

前南禅寺管長 柴山全慶老師

花は黙って咲き
黙って散って行く
そうして 再び枝に帰らない
けれどもその一時一処に
この世の終てを托している
一輪の花の姿であり
一枝の花の真である
限りない生命の歓びが
悔いなくそこに輝いている

例年にならない寒い冬がやっと過ぎ、花咲き乱れる春となりました。花見の計画を立てておられる方もあるかと思えます。

それにしても冬の間、硬くジツと寒さに耐えていた蕾から、綺麗な花を咲かせ、枝を伸ばしたくさんの葉を重ねる。その生命力には関心させられます。夏から秋に養分を樹皮や幹に蓄え春になると一気に養分を分を枝先に送り、花を咲かす。それも花を愛でる人間様のためでは無く、ただ与えられた花の命の営みそのままであり真理です。

柴山全慶前管長の「花語らず」の詩は、我々に命の真理、悔いのない生き方を示してくれています。

ます。花にそれぞれ人生を重ねる生き方を学びたいものです。



昨年の安住寺の桜です。今年も綺麗な花を見せてくれることと思います。今年の満開は何日かな？

本堂底工事完了

本堂裏縁が濡れ過ぎるので、庇を付ける工事をしていましたが、先ごろ完成しました。少々の雨では濡れなくなりましたので安心です。工事費は、三百四十万二千円でした。追加で穴の空いた銅板屋根の補修工事を行います。三月中には終わります。



杵築点描



新錦江橋完成

現在、南北の取り付け道路を工事中



杵築中学校やっと着工

校舎建設用地が確定
いよいよ本年度着工



新図書館完成

旧一松邸跡地に完成 3月24開館

◇行事予定◇

四月七日・早朝坐禅会	四月七日・独秀流御詠歌	四月八日・降誕会(花祭り)	午後二時花祭り講演会(城下町会館)	四月十七日・ご詠歌・観音講	四月十九日・写経写仏の会	四月二十一日・早朝坐禅会	四月二十三日・説教会	四月二十四日・合掌会総会	四月二十四日・説教会・総供養	五月二十七日・総代会(決算)	五月二十七日・世話人会(決算報告)	御詠歌	坐禅会	写経の会
基本・第二、四土曜日	四月より朝六時から	五月二十一日・六月二十日												

都合により変更することがあります。

義援金のお知らせ

今回は、義援金が集まらないということで大分県内の被災地に寄付しました。

台風18号大分県義援金 100,000円
(内賽銭 59,561円)

これまでの義援金総合計

1,386,188円

(内 お賽銭 842,227円)

東日本大震災義援金 合計1,043,708円

熊本大地震義援金 合計142,480円

北部九州豪雨義援金 合計100,000円

本年もお賽銭は、義援金に充てる予定です。